

高性能な住環境を基本に
スタイルそれぞれ自由設計

十勝の大らかな

青空が似合う「兄弟の家」



弟の家
大樹町
夫婦30代、
子ども2人

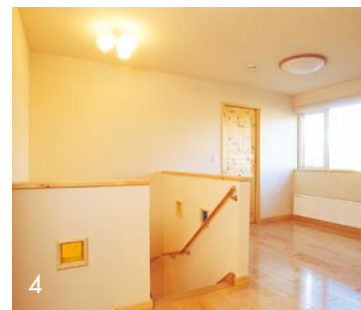


兄の家
上士幌町
夫婦30代、
子ども2人



塗り壁にパイン材の腰壁、フロアにカバの合板と、ナチュラルな素材感が心地よいリビング。出窓下に電気蓄熱暖房器を設置し、凹凸を出さない配慮がなされている。

木と塗り壁の
温かなぬくもりが
穏やかな時間を演出する



4



3

南向きの窓から、
ふんだんな光が
家族の暮らしに降りそそぐ



1



2



6

どを南面に配置し、光あふれる明るい空間がとてもしっかりと書斎など、希望もしっかり反映されています。一方、弟の家はパイン材と珪藻土を組み合わせたナチュラルな雰囲気。新築特有のいやな匂いがなく、家族に優しい素材が使われていることに安心感を覚えたそうです。

どちらの家も北米の厳しい自然環境に対応した2×6工法を採用し、抜群の断熱性と気密性を発揮。オイル電化仕様で、暖房はオイルパネルヒーターを採用。経済性とフレキシブルな室温調整の両方を可能にしています。

「男兄弟ですからね、どこをどうした」なんて、細かい情報のやり取りはしていません(笑)と弟さんは話しますが、結果、十勝に根ざしたビルダーを選んで正解だったと、この点では意見が一致したようです。

十勝の風景に映える三角屋根。玄関ポーチとそこに配されたバルコニー部分が、外観に縦のラインをつくりだし、いいアクセントになっている。

幕 別町出身のOさん兄弟は、幼い頃から「地元でいい仕事をしたい」と岡本建設の評判を耳にしていました。家庭を持ち、偶然にも家を建てようと思った時期が、兄弟でほぼ一致。それぞれが住宅展示場に出かけ、数社の営業マンとも接触を持ちましたが、今ひとつ決め手に欠けていたところ、二両親から「岡本さんなら間違いないって、建てた人みんなが言っているよ」という、兄弟の背中を押す一言が。現場見学会へも足を運び、岡本建設の家づくりに対する信念やQ値・0レベルを達成している性能面を確認。十勝の気候風土に合った、十勝で暮らす人の生活を考えた家づくりがここならできると納得し、岡本建設で家を建てることにしました。

兄の家はリビングや子ども部屋な

弟の家
4. 2階ホール。サーモ付きの暖房パネルで室温を上手に調整。
5. 子どもが小さいのでキッチン是对面式に。左手、ベランダ窓からの庭の風景と光で、料理中も開放的な気分。
6. ご家族同様に若々しさを感じさせる、すっきりとした外観。玄関ポーチには手づくり風の表札も。

兄の家
1. 一日中明るいリビングと手前ダイニング。ダイニング側は外にデッキも備え、開放感をさらに創出している。
2. パンやお菓子を焼くので、道具が広げられるようキッチンは広々と。カウンターは、簡単な食事をするのにも便利。
3. ドア上部に窓を設けることで明るさを確保した玄関。

株式会社 岡本建設

中川郡幕別町緑町40番地32 TEL 0155-54-2733

●<http://www.okamoto-kensetsu.co.jp/>

●E-mail:info@okamoto-kensetsu.co.jp

とじ込みハガキ 4 をご利用ください